

波紋

1996 10 月 第136号

第8回改善発表会 8/31(土)

第一位 キャロット (営業三部) 「キャロネット Version2.0」

発表者 坂柳夕里

私達、キャロットサークルは前回同様、電子メールのホームパーティー上で会議を行い、業務のコンピューター化を目指し、`習うより慣れろ精神`で改善を行ってきました。

コンピューターによる情報とデータの共有化を計る為にフロッピーディスクへ登録していましたが、LANの導入によりフロッピーディスク700枚分のデータを保存できるLAN上のハードディスクへ全て移しました。今回行った改善の加工台帳関連、材料手配関連、売上伝票関連、見積り関連、提出済み見積り関連のデータを8月末までに1070件、営業3部で共有しています。

これからも、コンピューターによる業務の効率化を目指して行きたいと思ひます。



第二位 ポピー (要工場製造部) 「一茂ガンバレ」

発表者 下垣紀一

私共ポピーサークルは、要工場にてNCカッター・プレス・デスクマット出庫等を、5名のメンバーで行っています。今回の発表では、その中でもプレスの抜き作業工程の改善を取り上げてみました。

置き型にて抜く場合の作業として、①置き型の上に抜き材料をもってくる。②その上に抜き刃を保護する為の軟質塩ビ板を乗せる。③抜いた後にその塩ビ板を取り除く。④静電気により塩ビ板に付いた製品、抜きカスを剥がす。⑤製品を取り出す。……と、5つの工程を行ってきましたが、圧盤にのり付マグネットにて塩ビ板を固定し、除電ファンを設けることにより、②③④の作業が省け、時間短縮につなげることができました。

これからもポピーサークルは、小さな改善をコツ!コツ!と積み重ね、結果として大きな改善につなげて行こうと思ひます。



第三位 トウモロコシ (営業一部) 「ポップコーン」

発表者 吉岡孝記

今回、トウモロコシチームは3位に入賞することが出来ました。各チームの改善発表を見て、まさか3位になるとは思いませんでした。

今回のテーマは「ポップコーン」。何故「ポップコーン」にしたかと言いますと、いつもはチーム内の改善を主に行っていましたが、今回は、トウモロコシから、ポップコーンの様にはじめて外に出て、違う部署と一緒に改善していこうという意味で名付けました。今回は、裁断と配送の人達の協力を得て、双方の改善が少しは出来たと思ひます。まだまだポップコーンに進化したとは言えませんが、これからもっと色々な部署と連携して行きたいと思ひます。

今回の改善ですごく勉強になったのは、やはりコミュニケーションの大切さでした。日頃なかなか心身に話し合ったことがなかった人と話し合うことで、色々なことが見えてきました。次回は、1位を取ることができるよう、頑張りたいと思ひます。本当に有難うございました。



「森松(株)40期を迎え」

常務・森下君がアメリカより、非常におもしろい商品を持ち帰りました。表示・看板等に使える新製品です。毎月毎月新しい商品が開発されて、販売する側も話題提供に困らない程です。10年前なら、ビニールだけ売ってれば良かったが、今はパソコン並みに毎月毎月新しい商品が続々と誕生している。森松も業界の時代の先端を歩いている事を実感します。

中国・アメリカ・日本を結ぶ商売を、今後、展開していく事になりますが、まず一番大事な事は、日本国内での販売力と製品開発力をシッカリ確保する事です。確保しないと外国に対し弱い立場になります。

現在、私共には幸いにも、強力なサポーターが内外にたくさん存在します。その方々の協力で答える意味でも、よりパワーアップしなくてはなりません。各自、それぞれの持ち場の足元を固め、各サークルの課題に取り組んでもらいたい。

プレス2台、ウエルダー2台、NC1台、焼却炉、プリントカッター、コンピューター等、1億円超の設備投資を今期中に実行します。

森 信之

トツ君の一方通行

「あのなあ」

チェーン店レストランにて3名で食事。コップの水が3名共空っぽ。店員に「お水下さい」と言う。店員は答える。「お一つですか？」あのなあ……。

社長と喫茶店でランチ。訳の分からない名前前のランチ。社長が「これは一体何の料理？」おねえちゃんが「さあ？」あのなあ……。

あるレストラン。遅い、頼んだ物が出てこない。催促散々する。同じ物が、後で頼んだ人の方へ先にいく。散々文句言っただけ、出入り口に「当店は最高のおもてなしをしており、口にお気付きの点がありましたら、ご遠慮なくこの用紙に……」。書いてあれから100年になるが、何の返事も無い。(この経営者の講演を聞きに行った事がある。素早い対応、お客様第一主義とおっしゃっていた)あのなあ……。

味噌汁にしてはぬるすぎる。変えて頂戴と言って新しく持ってきた味噌汁がもつとぬるい。あのなあ……。

「ご注文確認させて頂きます」と長々と確認して出てきた物が全員違う。新たに念押ししたら「ご注文確認させて頂きます」……あのなあ……。

大衆食堂で2名が全く同じ物頼んだ。勘定が違う。文句言ったら、ブツブツ言いながら同じ勘定になったが謝らない。間違いはあるから、ニコツとして「ごめんなさい」で済むことなんだけどもなあ……。

うどん屋へ行き(これもチェーン店)、総勢10名、席はガラガラ、なのに「5名ずつ別れてお座り下さい」だつて。構わず和室に入り食卓二つつないで一丁上がり。店員ぶすつとおめていたわ。この店2部上場果たしました。おめでとございます。サービスの質とかじゃなく、感性だなんて上品でもない、いわゆる非常識。結局は「この店の経営者の顔見たい」と、こうなるんだらうか……あのなあ……。

木村 英利

森松クインテット

「気がきく、気がきかない」

ここ一年程前から、会社で「気付き」に対して、よく言われています。この事から、盆休みの読後感で「気がきく人、気がきかない人」という本を読んだ人も多いかと思えますが、今回この本を引用し、紹介します。

やはり、仕事のできる人は「気がきく」仕事をする人だということですが、逆に仕事のできない人に共通することは「やらなくてもいい事をやって、うまくいかない展開に戦々恐々とし、意味のないフォローに時間を費やして振り回される。また、目先の事だけしか見てないから、自分は何をしているのか、何をしなければならぬかという、仕事の流れが解らなくなる。しかも、仕事のできない人は自分の仕事の流れを把握していないから、叱られたら言い訳ばかりで、改善のアイデアは何もない。従って、次の仕事も同じ様なその場凌ぎの無駄な労力浪費型サイクルになる。」ということである。

救われる道はただ一つ、気が付くようにすること。「気がつく力」を身に付けることし



かない様ですが、皆さんこれを読んで何に気が付きましたか？

山口 隆弘

喜怒哀楽

「元氣君、元氣さんに感謝」

森松マンの良いところは「明元素&思いやり」、今日も明るく元気で頑張っています。

ある部署で人手のいる残業がある時など、営業も製造も内務も、みんな気持ちの良い返事で一丸となり協力してくれました。これは、森松の良いところであり、自慢できることです。明るく、元気に、素直で、思いやりがあれば最高の力です。

「森松の皆さんは体力が続きますね。」とは、お客様の言葉。見た目は、体力の有りそうな人は少ないのに、頑張れるのは気力があるからなのでしょうが？

残業での雰囲気は良いですね。勿論、仕事の流れも良いです。だから、体力も続くのかな？そうそう、社員だけではないんですよ。パートさんの頑張りもすごいです。自分の仕事が少ないでも遅れたりすると、自発的に遅くまでやってくれます。家に帰れば家の仕事も待っているのに……本当にご苦労様です。

御家族の方、本当にすみません。皆さん身

体には気を付けて下さい。

感謝、感謝。

横山 敏秋



特別寄稿

上海からの便り

上海草如文教用品有限公司 楊玉霞



「波紋」読者の皆さん、始めまして。私は上海の文具メーカー「草如」の楊玉霞です。この度、6月26日より28日までの3日間、私はアメリカへ出張の機会を利用して、途中下車で突然、森松株式会社を訪問しました。私は以前にも日本へ旅行したことがありますが、名古屋は初めてでした。今回は事前に日本の滞在ビザを取っていないことが、入国するのに森社長初め、木村常務及び森松の社員方々に大変ご迷惑をお掛け致しました。この場を借りまして、心よりお詫びと感謝を申し上げます。

「念ずれば花開く」という日本の諺があるように、中国にも「有志者事竟成」の諺があります。今回のように何の準備もない私に、前例のない3ヶ月間短期滞在ビザを当日発行してくれたのは、森松の皆さんの最善を尽くした努力と、私の必ず森松という会社へ訪問したいという信念があったからだと思います。

「百聞は一見にしかず」名古屋は私の想像よりも遥かに美しい街です。澄み切った青空、整然と立ち並ぶ町並み、忙しく動く車の列は、日本経済の活気を感じさせます。何よりも、森松の社員の皆さんの暖かい情熱は、私の一生忘れられない思い出となりました。

私の愛する上海は、人口1800万人の中国経済の中心地です。上海製品は、昔から中国の莫大な消費市場に不動な人気を誇っています。上海は、中国中央政府の直轄市です。改革開放の政策以来、歴史的国際都市の底力を発揮して、常に世界各国の対中国投資の窓口として全国をリードして来ました。この中、上海と日本の経済交流も日々深くなっています。

私は、上海の企業の経営者として、皆さんから学ぶことは沢山あると思います。これからは、森松とのご縁を大切に、皆さんから学んで行きたいと思えます。また、名古屋の皆さんの上海案内人とさせて頂ければ、幸いに存じます。皆さんのご来訪を心よりお待ち申し上げます。

編集部言葉

楊玉霞（ヤン・ユイシャ）さんは、上海草如文教用品有限公司の女性社長です。草如（ツアオール）社は、台湾と上海に工場を持つPP製品のメーカーで、今年4月より森松と取引関係を結びました。この度、楊社長はアメリカへ出張の機会を利用して、森松を訪問した際、「波紋」編集部への要請を快諾して、寄稿して頂きました。

情報こそがすべての行動の原点だ

情報なくして状況分析できず。
 状況分析なくして状況判断できず。
 状況判断なくして対策生まれず。
 対策なくして効率行動生まれず。
 効率行動なくして業績向上あり得ず。
 業績向上なくして給料上がらず。
 給料上がらずして働く喜び生まれず。
 働く喜びなくして生き甲斐生まれず。
 生き甲斐なくして幸福創れず。
 幸福なくして人生完結されず。

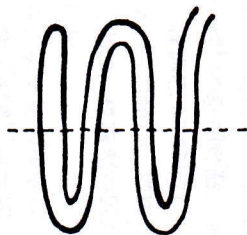
「気がきく人 気がきかない人」より
 著者 山形 琢也

クイズコーナー

〈9月号の答〉

ひもは「9本」になる。

※正解者には、
 商品の発送をもって
 発表にかえさせて頂
 きます。



平成
8年
10月の社内行事

28日(月)	編集会議 17時50分
26日(土)	第四土曜日休み
25日(金)	「元気が出る森松展」
24日(木)	加藤係長誕生日
//	竹内治子さん誕生日
//	営業会議
23日(水)	経営会議
21日(月)	生産会議 17時40分
19日(土)	中山ひとみさん誕生日
18日(金)	福島文徳さん誕生日
15日(火)	改善会議 18時
12日(土)	第二土曜日休み
10日(木)	体育の日
5日(土)	第一土曜日休み
3日(木)	竹田沙織さん誕生日
2日(水)	誕生会 12時 4F

第4回「元気が出る森松展」

素材百貨「名古屋華店」

会期 10月24日(木) 10:00~18:00

25日(金) 9:00~18:00

会場 森松株式会社 5Fホール(機械展示2F)

出展企業 (26社)

アキレス(株)
アサヒ合成工業(株)
(株)オオバ
オカモト(株)
カンボウプラス(株)
小池理化学工業(株)
三協化成(株)
サンビック(株)
シーアイ化成(株)

積水成型工業(株)
龍田化学(株)
チャンドラー(株)
東永化成(株)
東和合成工業(株)
日本イコール化学工業(株)
日本ウエーブブロック(株)
林一(株)
フィーサー(株)

富双合成(株)
(株)プラスコーポレイション
丸喜化学工業(株)
三菱化学MKV(株)
明和グラビア(株)
山口工業(株)
山本ビニター(株)
菱興プラスチック(株)
50音順 敬称略

編集発行者
森松株式会社
発行責任者
高橋 武夫
平成8年10月1日
第136号

編集後記
朝・夕めっきり涼しくなり、秋を感じる今日この頃は、
先日、森松釣り同好会メンバー13名で、敦賀の方へ「はぜ釣り」に行ってきた。小学生の頃、父親に連れられ釣りをした事があるくらいで、「超」初心者の私は、迷惑の掛けっぱなしでした。釣りたてのはぜをその場で刺身にして食べたんですが、その美味しい事、風が強く、空揚げが出来無かったのが残念ですが、とっても楽しい一日でした。今月は「元気が出る森松展」が開催されます。森松マンー丸となって頑張りますので、多数の御来場、心よりお待ちしております。
中山ひとみ